

令和4年度

適 性 検 査 Ⅲ

注 意

- 1 問題は [1] から [3] までで、6ページにわたって印刷してあります。
- 2 検査時間は45分間です。
- 3 声を出して読むではいけません。
- 4 解答はすべて解答用紙にはっきりと記入し、**解答用紙**だけ提出しなさい。
- 5 解答を直すときは、きれいに消してから、新しい解答を書きなさい。
- 6 性別・受検番号は解答用紙の決められた欄^{らん}3か所に必ず記入しなさい。

さいたま市立浦和中学校

太郎さんと花子さんは、二人が通っている小学校の来年度の運動会について話しています。

以下の会話文を読んで、問いに答えなさい。

太郎さん：先日、学校行事についてのアンケートが配られました。そのなかに、「来年度の運動会は5月と9月のどちらがよいですか？」という質問がありましたが、どう思いましたか。

花子さん：これまで毎年9月に行われてきたので、5月の実施を検討しているとおどろきました。しかし、調べたところ、運動会の時期は地域によってさまざまです。アンケートといっしょに配られた来年度の予定表を見ると、わたしたちの学校では、5月と9月のどちらかの第4土曜日に行う案があるようです。太郎さんは、どちらがよいと考えましたか。

太郎さん：はい。それを考えるために、まず、気温と運動の関係について調べてみました。それにあわせて月ごとの気温と降水量などについても調べてみました。また、わたしたちの小学校では、毎年、運動会が行われる月のはじめから、運動会に向けて練習をしています。1日でも多く練習できたほうがよいと思うので、来年度の5月と9月の練習ができる日についても調べました。それらをもとに考えると、わたしは5月がよいと思いました。

花子さん：そうなのですね。太郎さんの考えをまとめて、次の学級会で発表してみてもいいですか。

太郎さん：それはよいですね。さっそく、発表原稿をつくってみます。まず、資料1から読み取れる気温と熱中症予防運動指針の情報の関係をもとに、資料2から5月と9月のどちらがより運動をするのに適しているか、具体的に数値を使って述べます。次に、資料3から、9月より5月がよいと考えた理由を2つ以上の項目を用いて説明します。そして、資料4から、5月と9月の運動会の練習が可能な日数を比べ、その差を述べます。最後に、以上のことから、来年度の運動会は5月に行うのがよいと結論を述べます。

花子さん：がんばってください。

資料1 気温と運動に関する※1指針

気温	※2 暑さ指数	熱中症予防運動指針
35℃以上	31以上	運動は原則中止する
31℃以上35℃未満	28以上31未満	厳重警戒（激しい運動は中止する）
28℃以上31℃未満	25以上28未満	警戒（積極的に休けいする）
24℃以上28℃未満	21以上25未満	注意（積極的に水分補給する）
24℃未満	21未満	ほぼ安全（※3 適宜水分補給する）

※1 指針……物事をそれによって進めるべき方針、てびき。

※2 暑さ指数……熱中症の危険度を判断する目安となる数値。

※3 適宜……状況に応じて。

（公益財団法人日本スポーツ協会「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック（2019）」をもとに作成）

資料2　さいたま市における１０年間の最高気温の平均日数（２０１０年～２０１９年）

	４月	５月	６月	７月	８月	９月
３５℃以上の日数(日)	０．０	０．０	０．１	６．５	９．２	１．０
３１℃以上３５℃未満の日数(日)	０．０	１．３	２．６	１１．９	１２．４	７．３
２８℃以上３１℃未満の日数(日)	０．２	４．５	９．６	６．２	５．７	７．９
２４℃以上２８℃未満の日数(日)	３．８	１２．８	１１．２	４．３	２．５	９．３
２４℃未満の日数(日)	２６．０	１２．４	６．５	２．１	１．２	４．５

(気象庁ウェブサイトをもとに作成)

資料3　さいたま市の降水量と日本全体の台風の発生数に関するデータ（平年値）

	４月	５月	６月	７月	８月	９月
降水量が１mm以上あった日(日)	９．０	１０．０	１１．６	１１．８	８．８	１０．８
月別の平均降水量(mm)	１０１．９	１２１．４	１４４．８	１４８．０	１６４．０	２０２．８
台風の発生数(個)	０．６	１．０	１．７	３．７	５．７	５．０

(注) 平年値は、１９９１年～２０２０年の３０年間の平均です。(気象庁ウェブサイトをもとに作成)

資料4　太郎さんと花子さんが通う小学校における来年度の５月と９月の予定表

５月の予定 (一番下の段に○がついている日は、運動会の練習が可能な日)

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
曜日	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
行事	さいたま市民の日		憲法(けんぽう)記念日	みどりの日	こどもの日						交通安全教室		クラブ活動															運動会(仮)		振替(ふりかえ)休業日	
練習		○				○			○	○		○				○	○	○	○	○			○	○	○	○	○				

９月の予定 (一番下の段に○がついている日は、運動会の練習が可能な日)

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
曜日	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
行事	避難(ひなん)訓練								クラブ活動										敬(けい)老の日				秋分の日	運動会(仮)		振替休業日		遠足(1・2年)	遠足(3・4年)	
練習		○			○	○	○	○				○	○	○	○	○				○	○	○								

問　あなたが太郎さんなら、どのような発表原稿を作成しますか。次の条件に従って書きなさい。

条件1：解答は横書きで1マス目から書くこと。

条件2：文章の分量は300字以内とすること。

条件3：数字や小数点、記号についても1字と数えること。(例)

4	2	.	5	%
---	---	---	---	---

太郎さんの学校では、環境美化への取り組みを進めるために、全クラスから企画を募集しています。太郎さんのクラスは、ガーデンアーチの企画（ガーデンアーチプロジェクト）を提案することになりました。企画書の担当になった太郎さんは、先生と話をしています。

以下の会話文を読んで、問いに答えなさい。

【太郎さんと先生の会話①】

先生：企画書の作成は順調に進んでいますか。

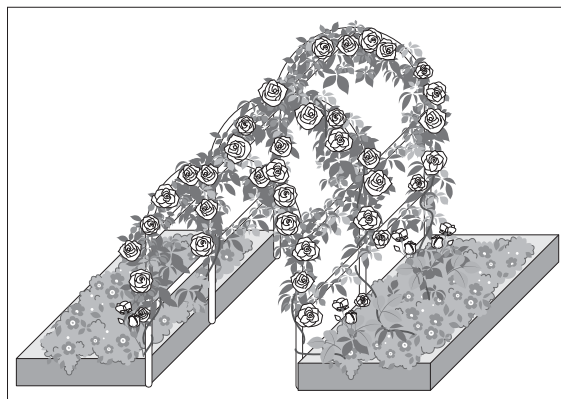
太郎さん：はい。これが完成予想図です。ガーデンアーチをくぐることで、全校の環境美化への意識を高めたいと考えています。クラス全員で考えた企画なので、ぜひ実現させたいです。

先生：このガーデンアーチをつくるために必要な材料と費用はわかりますか。

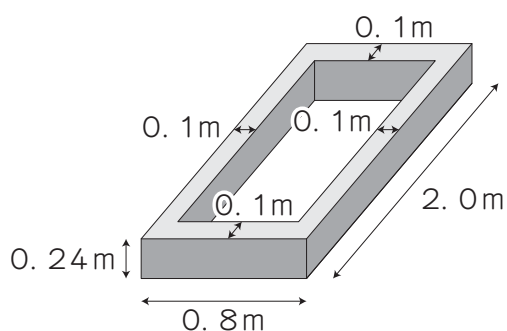
太郎さん：材料は、花だんをつくるためのレンガと、ガーデンアーチをつくるための金属製のポールなどです。資料1と資料2の設計図を花子さんが作成してくれたので、必要な材料の種類と数がわかります。費用は、どのように計算したらよいのでしょうか。

先生：まずは、実際の販売価格を調べる必要がありますね。学校の近くにある、AとBの2つのホームセンターで、材料の販売価格を調べ、比べてみてはどうでしょうか。

完成予想図

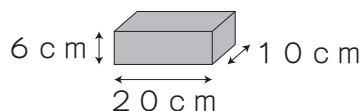


資料1 花子さんの設計図①「花だん」



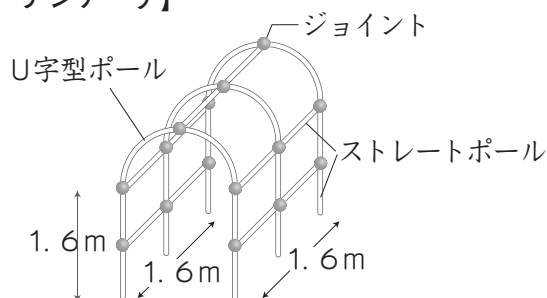
このサイズの花だんを、ガーデンアーチの外側に2つ作る。なお、以下のレンガをすき間なく積み、花だんを作るものとする。

使用するレンガ（直方体）



資料2 花子さんの設計図②「ガーデンアーチ」と必要な材料の数

【ガーデンアーチ】



それぞれのポールをジョイントでつなぐとき、ポールとポールが重なることはないとする。また、ポールの厚みは考えないものとする。

【必要な材料の数】

ストレートポール (0.8m)		22本
U字型ポール		3本
ジョイント		15個

太郎さんはAとBの2つのホームセンターに行き、必要な材料の販売価格を調べ、表1、表2にまとめました。

表1 太郎さんがAのホームセンターで調べた材料の価格（すべて税込み）

材料	価格（個別販売）	価格（セット販売）
レンガ	1個 200円	1セット（10個） 1800円
ストレートポール	1本 350円	1セット（10本） 3150円
U字型ポール	1本 500円	1セット（10本） 4500円
ジョイント	1個 100円	1セット（10個） 900円

表2 太郎さんがBのホームセンターで調べた材料の価格（すべて税込み）

材料	価格（個別販売）	価格（セット販売）
レンガ	1個 220円	1セット（12個） 1848円
ストレートポール	1本 385円	1セット（12本） 3234円
U字型ポール	1本 550円	1セット（12本） 4620円
ジョイント	1個 110円	1セット（12個） 924円

【太郎さんと先生の会話②】

太郎さん：AとBの2つのホームセンターで、花だんとガーデンアーチに使用する材料の販売価格を調べました。どちらのホームセンターでも同じ種類の材料が売られていました。しかし、個別販売における1個あたりの価格と、セット販売における1個あたりの価格にちがいはありました。

先生：セット販売で買うと、1個あたりの価格は安くなります。しかし、AとBの2つのホームセンターでは割引率に差があります。両方の店の個別販売とセット販売を上手に組み合わせると合計金額が安くなりそうですね。最も安くなる組み合わせを考え、費用を計算してみましょう。

太郎さん：はい、費用を計算してみます。しかし、セット販売だけで材料をそろえると、材料に余りが出そうです。余りが出る買い方でもよいのでしょうか。

先生：今回は、資料1、資料2をもとに、必要な数の材料を買って、余りが出ないようにしましょう。両方の店の個別販売とセット販売を組み合わせる買い方をすることについて、学級会でクラスみんなに説明してみてもいいのでしょうか。

太郎さん：はい。先生からのアドバイスを参考に、最も安くなる組み合わせで「ガーデンアーチプロジェクト」のすべての材料を買う方法について、発表原稿を作ります。まず、資料1から、花だんをつくるために必要なレンガの数を述べます。次に、資料2から、ガーデンアーチを完成させるのに必要な材料と数をそれぞれ述べます。そして、表1を使って、Aのホームセンターで買う材料とその数を述べます。さらに、表2を使って、Bのホームセンターで買う材料とその数を述べます。最後に、これらの買い方で全部の材料を買うための合計金額を述べます。

先生：がんばってください。「ガーデンアーチプロジェクト」の提案が通るといいですね。

問 あなたが太郎さんなら、どのような発表原稿を作成しますか。次の条件に従って書きなさい。

条件1：解答は横書きで1マス目から書くこと。

条件2：文章の分量は250字以内とすること。

条件3：数字や小数点、記号についても1字と数えること。 （例）

4	2	.	5	%
---	---	---	---	---

花子さんのクラスでは、総合的な学習の時間に「伝統文化を受け継ぐこと」について調べています。花子さんは埼玉県内の郷土料理や伝統料理について発表することになり、先生に相談しています。

以下の会話文を読んで、問いに答えなさい。

花子さん：先日、埼玉県内の祖母の家に遊びに行ったときに、写真1にある「みそポテト」を食べました。「みそポテト」とは、熱々のじゃがいもにみそだれをつけて食べる、秩父地方の有名な郷土料理です。

先生：おいしそうですね。日本全国にはさまざまな郷土料理があり、埼玉県には他にも写真2の「すったて」などの郷土料理がありますが、花子さんはふだんそのような料理を食べる機会が多いのですか。

花子さん：いいえ。祖母の家に行ったときぐらいしか食べることはありません。

先生：ここに、食育に関する国民の意識調査の結果があります。資料1を見てください。これは、20歳以上の方が、ふだんどのくらい郷土料理や伝統料理を食べているかを表したものです。

花子さん：現在は、郷土料理や伝統料理を日常的に食べない人も多くいるのですね。

先生：そうですね。価格の問題もあるかもしれませんが、このまま日常的に食べない人が多くなれば、これまで地域や家庭で受け継がれてきた料理や味、作法などの食文化が、いつかは失われてしまうかもしれません。

花子さん：和食が無形文化遺産に登録されたというニュースもありました。郷土料理や伝統料理にも大きく関係のある話だと思います。わたしたちの国のさまざまな素晴らしい食文化が、これからも大切にされ、受け継がれていくことはとても重要だと思います。

先生：そのとおりですね。資料2、資料3を見てください。資料2では、地域や家庭で受け継いできた伝統的な食文化を、地域や次世代にどれくらい伝えているかがわかります。また、資料3からは、資料2で食文化を地域や次世代に「伝えていない」と回答した人が、今後、食文化を伝えるために、どのようなことが必要だと思っているかがわかります。これらについてもふれ、発表の準備をするとよいでしょう。

花子さん：わかりました。まず、資料1から、郷土料理や伝統料理を食べている回数が「月に1回以上」の人の割合を計算し、百分率を用いて小数第1位まで述べます。次に、資料2から、食文化について地域や次世代に「伝えていない」と回答した人が約何割いるかを示します。そして、資料3のアンケート項目の上位3つの中から、食文化を伝える機会として最も必要だと考えるものを1つ選び、どのようなことができるかについて具体的な例をあげて述べます。最後に、食文化を受け継いでいくことが大切であるということを、クラスみんなに伝えます。

先生：とてもよい発表になりそうですね。

写真1 みそポテト



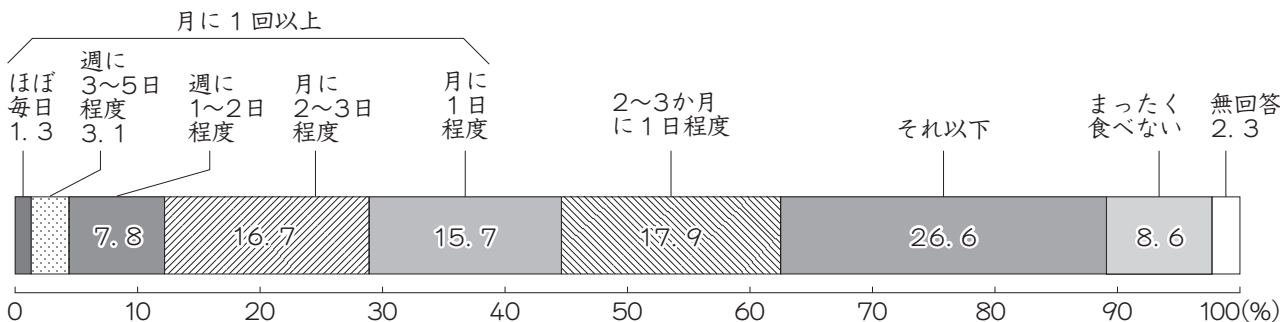
(埼玉県のウェブサイトより引用)

写真2 すったて

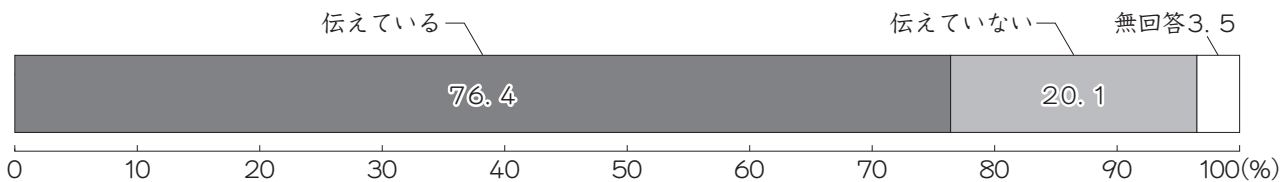


(農林水産省のウェブサイトより引用)

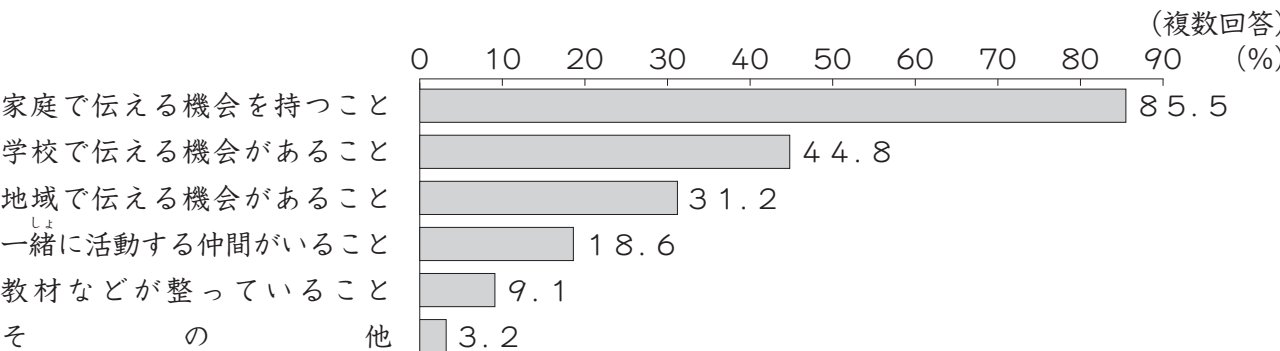
資料1 郷土料理や伝統料理を食べている回数



資料2 地域や家庭で受け継いできた伝統的な食文化を、地域や次世代に伝えているか



資料3 資料2で「伝えていない」と回答した人が食文化を伝えるために必要だと思っていること



資料1、2、3 (農林水産省「食育に関する意識調査報告書 (令和3年3月)」をもとに作成)

問 あなたが花子さんなら、どのような発表原稿を作成しますか。次の条件に従って書きなさい。

条件1：解答は横書きで1マス目から書くこと。

条件2：文章の分量は300字以内とすること。

条件3：数字や小数点、記号についても1字と数えること。

(例)

4	2	.	5	%
---	---	---	---	---

これで、問題は終わりです。

